

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 7月24日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
広島県大竹市港町1丁目5-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
中川製袋化工株式会社 代表取締役社長 中川兼一  
(代理人)取締役長浜工場長 齋藤平太

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	中川製袋化工株式会社 代表取締役社長 中川兼一
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	広島県大竹市港町1丁目5-1

1 事業者の概要

事業所の名称	中川製袋化工株式会社 長浜工場						
事業所の所在地	滋賀県長浜市祇園町字対ノ御前773番						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	1	プラスチックフィルム製造業	
事業の概要							
従業員の数	84	人	作業時間	時間/日			
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2019	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2022	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

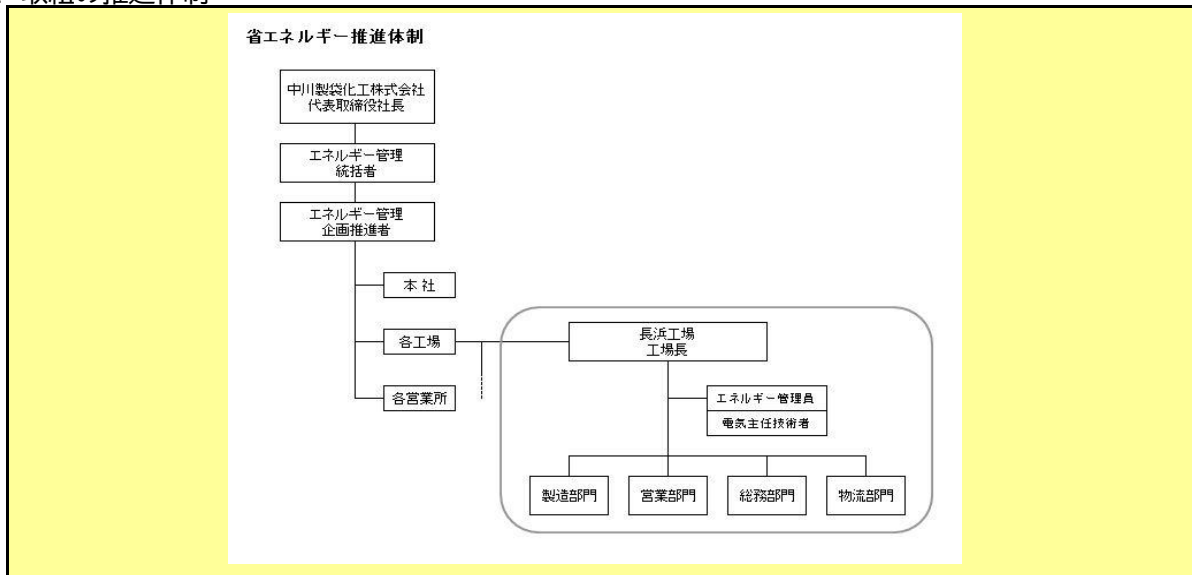
### 1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

事業活動での環境への負担を最小限にする仕組みづくりに努めてまいります。

1. 省エネルギー・省資源に努めます。
2. 廃棄物の削減と再資源化に努めます。
3. 環境保全に関連する法令・規則を遵守します。

上記事項について全従業員に周知することにより、全社的に取り組んでまいります。

### 2 取組の推進体制



### 3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ◆ 圧縮エアーの管理改善
  - ・ 運転台数管理
  - ・ エアー漏れ削減
  - ・ 圧力設定の見直し
  - ・ 圧縮機サイズダウン
  - ・ 排熱改善
- ◆ エアコンの運転管理
- ◆ 電力のデマンド監視、力率改善
- ◆ 照明設備の減灯、消灯、タイマー運転
- ◆ 省エネタイプへの更新
  - ・ エアコンプレッサーの更新
  - ・ ポンプの更新
  - ・ エアコンの更新
  - ・ 蛍光灯のLED化
  - ・ モーターのインバーター化
  - ・ 複合機の更新
- ◆ エネルギー管理人材の育成

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	省エネタイプへの更新（生産機器、事務機器、共用設備、車両）	2019～2022年度	実施中
2	運用改善	圧縮エアの使用量削減	2019～2022年度	実施中
3	運用改善	コンプレッサの運転管理	2019～2022年度	実施中
4	運用改善	エアコン、給排気ファンの運転管理	2019～2022年度	実施中
5	プロセス改善	生産性の改善（生産効率、稼働率、歩留率等）	2019～2022年度	実施中

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取り組み等により 2018年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位＝CO<sub>2</sub> 排出量／生産量 で年平均1%削減</p> <p>なお、原単位の考え方は次の通りです。 温室効果ガス排出量は、製品の生産量に大きく影響するため、生産量を原単位の指標(分母)として設定します。また、温室効果ガス排出量の算定にあたり、電気のコ<sub>2</sub> 排出係数は基準年度の係数に固定して算出します。</p>	<p>計画期間中の平均原単位変化は、△1.3%で目標達成ペース。</p> <p>本年度の原油換算エネルギー使用量は、基準年度に比べて24%の削減ができました。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,766	1,631	1,531	1,538	1,415	
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,070	2,297	2,083	2,228	1,695	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,070	2,297	2,083	2,228	1,695	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.430	0.345	0.331	0.342	0.234	

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						